



この QR コードから HP を見る
ことができます。

 長崎市立橘小学校

～寄り合って、寄り添って、みんなで育て、みんなで育つ～
かがやけ ひびけ たちばなキッズ



TACHIBANA TIMES

令和 8 年 1 月 26 日発行 文責 校長 宮原 友彦

◆ 3 学期始業式で話したこと

3 学期の始業式で、以下のことを子どもたちに話しました。

○3 学期に学校で学ぶことができる日数

・1～4 年生:49 日 ・5 年生 50 日 ・6 年生 47 日

・1 学期は「ホップ」、2 学期は「ステップ」、そして 3 学期は次の学年の準備をする「ジャンプ」にあたる
こと

「安心して自分を出せる環境を自分たちで作っていこう！」そのために、次のことをしっかり
頑張ろうと呼びかけています。

『心』は誰にも見えないけれど、
「こころづかい」は見える。
『思い』は見えないけれど、
『思いやり』は誰にでも見える。
その気持ちをカタチに。

カタチ 1

「あいさつ」のバージョンアップ

相手の名前を呼んであいさつしよう

名前を呼んであいさつすると、された人はちゃんと
「私」を大切にしてくれているんだな、仲間なんだ
と安心します。

カタチ 2

「聞く」のバージョンアップ

人（先生、友だち）の話を大切に聞こう

「話し上手は聞き上手！」

話している相手を大切にしていますよ
という思いやりのあらわれです
真剣に聞いてくれると、安心して話せます。
「いいね！」「なるほど！」「そういう考えもある
ね！」

カタチ 3

「よいところ見つけ」のバージョンアップ

友だちのよいところを、どんどん伝えよ
う（言葉で、カードで）
ほめられるとうれしくなります。自分の知らないよ
いところを見つけてくれた人を大切にします。



心づかい・思いやりをダメにしてしまう
安全・安心な居場所をなくしてしまう

NG: 暴言・暴力、あおり言葉、いじめ、なかまはずし

◆ 長崎市共通の約束事について（生活指導）

長崎市の生活指導部会では、夏休みのくらし、冬休みのくらしなどで見られるように、生活指導において、『長崎市共通のきまり』があります。これは長期休みだけでなく、通常の学校時も同様のルールです。特に守ってほしいこととしてあがっているものを、あらためていくつか抜粋して、ご紹介します。

- 校区外に出掛けるときは、原則として保護者同伴とする。
- 用もないのに店に出入りはしない。
- 子どもだけでゲームセンターやカラオケボックス、インターネットカフェ、イートインコーナー、フードコートなどには出入りをしない。

- 子ども同士でゲームソフトやカードなどの貸し借りや売買をしない。
- 金銭の貸し借りをしたり、おごったりしない。

この大きく分けて、2つの「原則として校区外に子どもだけで行かない」「子ども同士での金銭、物の貸し借りやおごったりしない」というルールは、ずっと以前から市内共通の約束としてあがっています。それは、昔からトラブルに結び付くことが多いとわかっているからです。商業施設は、商売をするところであり、子どもの遊び場ではありませんし、カードやゲームソフトはお金を出して買った金品であるため、ないことをあらためて子どもたちにも指導を行うよう、全担任にお願いしました。ご家庭でも併せてご指導をお願いします。

宮原のつばき

12月はじめから、膝を痛めてしまい、長時間立つと左足が腫れ上がってしまい、歩くことすらままならなくなるため、現在、朝の立哨をお休みしています。子どもたちと朝から挨拶を交わせないのは、なんとも寂しいものです。

そんな中、学校外で偶然出会った子どもたちに、思いがけず丁寧に挨拶をしてもらい、とてもうれしくなりました。また、校内でも笑顔で挨拶をされると、心が晴れやかになります。「『心』は誰にも見えないけれど、『ころづかい』は見える 『思い』は誰にも見えないけれど、『思いやり』は誰にも見える…」の詩のように、この子どもたちの素敵な笑顔の挨拶を、もっとたくさんの人に向けて、広げていきたいものですね。

そのためのひとつの手立てとして、日頃橘小の子どもたちのために様々な面でお世話になっている方々へも、子どもたちの挨拶が広がるように、「橘小のアベンジャーズ」として、顔写真とお名前を掲示しています。登下校の見守りや、昔ながらの遊び会、放課後子ども教室、1年生の給食の支援などなど、地域の方には様々な支援をいただいています。しかし、現代は、下手に子どもたちに声をかけると、不審者扱いされてしまうような世の中でもあります。顔と名前が一致するような関係が広がると、きっと子どもたちの素敵な挨拶も広がり、地域に元気をっていくのではないかと考えています。

